



みこしがまちを練り歩く

4月10日、大山祇神社と賀多神社の例大祭である鳥羽春まつりが行われました。旧鳥羽町では4年に1度の持ち回りで獅子舞やみこしの奉納を続けてきており、今年は錦町のみこしが奉納されました。

大山祇神社を出たみこしは、「チョウサヤ、チョウサヤ」という力強い掛け声とともに1日かけて旧市街を練り歩きました。



鳥羽から初めてのボートレース選手誕生

今年3月に学校を卒業し、ボートレース選手となった浦村町出身の吉川貴仁さんが、4月20日に市長室を訪れました。

吉川選手は「新人なので元気よく、レースではいい結果を残せるよう頑張りたい」と抱負を述べました。木田市長は「有名な選手になれるよう頑張ってください」とエールを送りました。

吉川選手は、5月8日(日)～11日(水)に津市の競艇場「ボートレース津」で開催されるレースでデビューします。



災害に負けないまちに

4月15日、一番亭鳥羽店の竹川店長が市長室を訪れ、5年前の東日本大震災以降に店頭の募金箱で集めた46,105円を市へ寄付していただきました。

竹川さんは「いつ鳥羽で大震災が起こってもおかしくないのだから、市の防災対策などに活用していただきたい」と思いを語ってくれました。

市長は「本当にありがとうございます。竹川さんのような考えのかたが、一人でも増えると社会が明るくなると思います」とお礼を述べました。



きらり輝く鳥羽を世界へ発信したい

鳥羽商工会議所かもめホールで4月5日、新卒就職者激励会が行われ、市内事業所などに就職した70人が出席しました。

式典では、鳥羽商工会議所の松田音尋会頭から「国際観光文化都市・鳥羽市の文化や歴史など魅力を広く発信してほしい」と出席した若者に激励の言葉が贈られました。また、新卒就職者たちは、「観光客の良い思い出づくりの手伝いができるよう笑顔で頑張りたい」「社会人の自覚と責任を持って仕事に励みたい」など各自抱負を述べました。